

学校 番号	23	学校名	更級農業高等学校
----------	----	-----	----------

令和元年度学校評議員活用状況報告書

第 2 回学校評議員会 【令和2年2月17日（月）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- ・ 学校長挨拶
- ・ 学校からの報告（学校の現状等・スクールコンプライアンス・学校評価・生徒指導・進路指導・生徒会活動・農業教育）
- ・ 高校改革～夢に挑戦する学び～3つの方針・グランドデザインについて
- ・ 意見交換

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・ 意見交換の時間を増やすため、学校からの説明を簡略にするよう努めた。
- ・ 「育てたい生徒像」として3つの方針について説明し、地域人材育成の観点から本校の農業教育に期待すること等についてご意見をうかがう時間を設けた。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・ 3つの方針・グランドデザインの周知について、次年度にはすべての公立高校で作成されたものがインターネット上で公開されることが決まっており、学校によっては学校案内パンフレット等にも掲載していくことが考えられる。公開されることで中学生・保護者は各校の「生徒育成方針」、「教育課程編成・実施方針」及び「生徒募集方針」を高校選択の際に参考にすることができる。また、地域の人々もそれぞれの高校での学びの特長について理解を深めることができる。
- ・ 農業科の学科・コース設定の変更について検討し、新しい農業のやり方を学ぶために AI やコンピュータ等を専門的に学べるコースを設けていただきたい。農業人口の高齢化が進み、昨年台風19号の水害の影響で果樹生産農家も危機的状況にあり、地域農業の衰退や農地の荒廃が懸念される。対応策の1つとして、AI や Iot 等の先端技術を活用した農業についても知識を得る必要があると思われる。ドローンを使って果樹の熟し方を調査するといったことから始めてみるとよいと思われる。
- ・ 1月の課題研究発表会は好評であったが、研究成果が地域に還元されるようなものとなることを期待したい。農業者対象の「更農発」となる研究をしていただき、特許技術になるようなもので、地域の実態と合う先端的なものが必要であるとする。
- ・ 農業の担い手育成に関連して、農業大学校への進学や農業法人への就職など、農業関係に進む生徒がもう少し増えるように声かけをしていただきたい。

- ・ 県の条例で自転車損害賠償保険等への加入が義務付けられたが、本校では PTA の団体保険に毎年全員が一括加入しており、損害補償の面では対応できている。ただし、自転車事故で自分がけがをした場合の傷害補償のために、入学時に自転車保険に加入するよう呼び掛けている。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・ 本校の「3つの方針」に基づいた教育活動を展開し、日々の授業や専門教育の質的向上のため、PDCA サイクルの中で絶えず指導の検証と改善が図られるように努めていく。さらに、検証結果を公表して学校の「見える化」を進め、保護者や地域との連携による学校改善が図られるようにする。
- ・ 教育内容の更なる向上のため、生徒の基礎学力向上と主体的に学ぶ姿勢や思考力の育成を目的として、「探究的学び」を取り入れた授業を推進するとともに、授業と評価の一体化を図ることで授業改善を効果的に進めていく必要がある。